

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
関東オークス	2019/6/12	JpnII	川崎	2100m	ハイペース	重	末脚の持続力

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	アークヴィグラス	牝3	54	森	サウスヴィグラス	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	B	A	B	B	B	B	△2	
2	2	ダバイダバイ	牝3	54	矢野	リーチザクラウン	サンデー系	ワカオライデン	ナスルーラ系	D	A	B	C	C	C		
3	3	リトミックグルーブ	牝3	54	吉原	タートルボウル	ノーザン系	キングカメハメハ	ミスプロ系	D	A	B	B	C	B	×1	
	4	ゼットパッション	牝3	54	山崎	グランプリボス	ナスルーラ系	キングカメハメハ	ミスプロ系	C	B	C	B	C	B	△3	
4	5	グローリアスライブ	牝3	54	赤岡	ゴールドヘイロー	サンデー系	シーキングザタイア	ミスプロ系	D	A	C	B	C	C		
	6	トーセングーネット	牝3	54	左海	アグネスデジタル	ミスプロ系	クロフネ	ノーザン系	A	B	B	A	A	B	◎	
5	7	ナインシュヴァハ	牝3	54	藤江	グランプリボス	ナスルーラ系	Red Ransom	ロベルト系	D	C	D	D	D	D		
	8	エリーバラード	牝3	54	菊沢	アルデバラン2	ミスプロ系	キングカメハメハ	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
6	9	ローザノワール	牝3	54	幸	マンハッタンカフェ	サンデー系	Awesome Again	ノーザン系	A	B	B	C	B	B	▲	
	10	キタサンベッキー	牝3	54	本橋	パイロ	ナスルーラ系	カコイシーズ	アリダー系	D	B	C	C	C	C		
7	11	アブソルートクイン	牝3	54	本田	カネヒキリ	サンデー系	アスワン	ノーザン系	D	B	C	C	C	C		
	12	タイムゴールド	牝3	54	町田	タイムパラドックス	ロベルト系	アジュディケーティング	ノーザン系	D	B	C	C	C	C		
8	13	マドラスチェック	牝3	54	大野	Malibu Moon	ナスルーラ系	Mr. Greeley	ミスプロ系	A	B	B	B	B	B	△1	
	14	ラインカリーナ	牝3	54	武藤	パイロ	ナスルーラ系	アラムシャー	ノーザン系	A	B	B	B	B	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
シヨウ エリー ライン アーク マドラ グロー トーセ リトミ ゼット ダバイ アブソ キタサ タイム ナイン	南関東の3歳牝馬クラシック最終戦の関東オークス。12年にアスカリーブル(船橋)が勝利して以降、JRA勢が6連勝中だが、地方勢にも大いに出番のあるレースで、昨年は1着ハービンマオ(JRA)→2着ゴールドパテック(川崎)→3着クレイジーアクセル(大井)で決着。過去5年の3着以内馬15頭の内訳を見ても、JRA勢9頭、地方勢6頭なので、地方勢もよく健闘しているレースと言えるだろう。今年は桜花賞→東京プリンセス賞と二冠を達成したトーセングーネットがJRA勢のマドラスチェック、ローザノワール、ラインカリーナらを迎え撃つ構図。果たして今年もJRA勢が勝利するのか、それともトーセングーネットが06年チャームアスリーブ以来、史上二頭目の三冠馬に輝くのか。早速、予想にいきましょう。	回顧
ハイペース	本命は <b>トーセングーネット</b> に三冠のチャンスありと見た。昨年の兵庫ジュニアグランプリではJRA勢に後塵を拝したが、今年に入ってから明らかに本格化。今年初戦のニューイヤーカップではのちのダービー馬ヒカリオーソを下し、続くユングフラウ賞こそ2着に敗れたものの、その後は桜花賞→東京プリンセス賞と横綱相撲で二冠を達成。(以下省略)	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	アークヴィグラス	△2	距離が伸びてパフォーマンスを上げるとは思えないが、森騎手の腕と1枠1番のアドバンテージを生かせば、上位進出のチャンスが巡ってくるか。		
2	2	ダバイダバイ		2歳時から成長が感じられず、桜花賞5着（勝ち馬トーセンガーネットから3.2秒差）、東京プリンセス賞12着と結果を残せず。今回はダートグレード。引き続き苦戦濃厚だろう。		
3	3	リトミックグルーブ	×1	東京プリンセス賞は1、2着馬に完敗と言える内容も、キャリアが浅いことを考えれば、まだ上積みがありそう。アークヴィグラスよりは距離の融通が利きそうで、インペタで回ってこれれば、再び3着くらいならチャンスはあるか。		
	4	ゼットパッション	△3	前走東京プリンセス賞の走りが案外も、桃花賞1着、桜花賞2着の走りは本物で、前走の敗戦で人気落ちるなら押さえておきたい。今回は山崎騎手もさすがに勝ちに行かないだろう。		
4	5	グローリアスライブ		前走留守杯日高賞で重賞初制覇を果たすも、水沢に遠征しての話。南関東では特別戦でも勝ち切れておらず、ダートグレードではさすがに荷が重い。		
	6	トーセンガーネット	◎	桜花賞では歴代二番目に速い勝ち時計を計測。東京プリンセス賞は、アークヴィグラスの勝ちパターンの中、差し切ったのだから字面以上に評価していいだろう。テンよし、中よし、終いよしの自在型。JRA勢はすべて先行タイプなので、それらの馬の前に見ながら運べる利点もありそうだ。		
5	7	ナインシュヴァハ		デビュー2戦目に初勝利を挙げて以降、大敗続き。ここは地元のレースで参加するだけだろう。		
	8	エリーバラード		佐賀で交流戦・2連勝を成し遂げるも九州産馬限定では威張れない。2100mも明らかに距離が長く、2周目向上面で脱落しているだろう。		
6	9	ローザノワール	▲	前走500万下が逃げてタイムランクAをマークする破格のパフォーマンス。勝ち時計1分51秒4は、同日の古馬1000万下・與杼特別（よりも速く、前週に行われた鳳雛ステークス（1分53秒1）をはるかに凌ぐ数字。逃げれば相当強い馬なのかもしれない。		
	10	キタサンベッキー		デビュー以来、【3.2.1.0】（上りもすべて3位以内）と大崩れなく走っているが、今回はダートグレード。さすがに壁にぶつかるとは。		
7	11	アブソルートクイン		前走シーナフォンテン・メモリアルはやや骨っぽい相手に勝利を果たしたが、重賞でましてやダートグレードで即通用するほどのインパクトはなかった。苦戦必至だろう。		
	12	タイムゴールド		血統的には距離延長歓迎も、現実的に中距離では結果が出ていない。相手もさすがに強いのでは。		
8	13	マドラスチェック	△1	ダートに替わって500万下→鳳雛ステークスと2連勝。キャリアが浅い分、まだ上積みも見込めそうだが、グリグリ1番人気になるほど能力が抜けているとはとても思えない。単純に前走の走破時計でもローザノワール>マドラスチェックで、ブランドでやや人気先行している感がある。		
	14	ラインカリーナ	○	前走伏竜ステークスは1着デアフルーグ、2着マスターフェンサーではさすがに相手が悪過ぎた。4着ブラックウォーリア以下には4馬身差をつけており、あそこまで走れたのは大きな収穫だろう。人気はマドラスチェック、ローザノワールに譲ることになりそうだが、能力的にはその2頭にもそんな色ない。		